

桂を起点に未来を育む
 [Fostering the future with 桂 as a starting point]

Fostering 桂

ウェルビーイングを支える
 生活環境技術とマテリアルイノベーション



2023
3.16[木]
 13:30-17:00

参加費無料
 要事前申込

会場

京都大学 桂キャンパス
 Bクラスター事務管理棟 1階 桂ホール
 [会場定員先着50名、ZOOMウェビナー同時配信]

プログラム

研究発表・展示

- 13:00** 会場受付開始
- 13:30** 開会挨拶
 - 榎木 哲夫 [京都大学 大学院工学研究科長 教授]
- 13:40** 話題提供
 - 延原 和雄
 [京都市 産業観光局 産業イノベーション推進室
 イノベーション事業統括課長]
- 14:00** 研究発表
 - 高津 浩 [京都大学 大学院工学研究科 講師]
 - 牧野 成道
 [株式会社 村田製作所 技術・事業開発本部
 技術イノベーション戦略部 シニアスペシャリスト]
 - 伊庭 千恵美 [京都大学 大学院工学研究科 准教授]
 - 川井 和哉
 [オムロンソーシャルソリューションズ株式会社
 事業開発統轄本部 ソーシャルデザインセンター長]
- 15:20** 配信終了
- 15:25** 展示
- 15:50** 閉会

ワークショップ | 桂ラウンジ (参加者限定)

- 16:00** 趣旨説明・ワークショップ
- 16:50** 閉会挨拶
 - 鈴木基史
 [京都大学 大学院工学研究科 附属学術研究支援センター長 教授]
- 17:00** 閉会

申込締切

2023.3.15 [水] -17:00

お申込みは下記イベントページよりお願いいたします

<https://www.rac.t.kyoto-u.ac.jp/ja/news/events/ind-day2023fosteringkatsura>

※会場では新型コロナウイルス予防対策へのご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス状況によってはオンラインのみの開催となる可能性があります。



主催

京都大学 学術研究展開センター
 京都大学 大学院工学研究科

共催

京都市 関西イノベーションイニシアティブ (KSII)
 (公財) 京都高度技術研究所 京都大学 産官学連携本部

後援

(公財) 京都産業21 (独) 中小企業基盤整備機構 近畿本部

お問合せ

Fostering桂事務局 [京大オリジナル株式会社]

E-mail: kensyu@kyodai-original.co.jp

※京都大学 学術研究展開センター (KURA) 桂地区担当より一部委託を受け本イベントの受付業務を代行しております。



京都大学
 KYOTO UNIVERSITY

[発表概要]

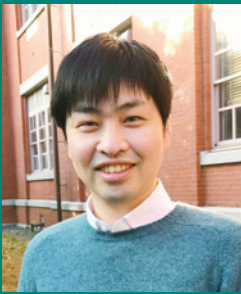
話題提供

京都市の政策体系及び社会課題解決に向けた取組について

延原 和雄 (京都市 産業観光局 産業イノベーション推進室 イノベーション事業統括課長)

本市では令和3年3月に「はばたけ未来へ！京プラン2025(京都市基本計画)」を策定し、同年8月には「行財政改革計画」を策定。持続可能な財政を確立し、魅力あふれる京都を未来へ引き継ぐため、少子化による人口減少、地球温暖化、新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ情勢による原油価格・物価高騰など、これらに伴う社会課題、地域課題の解決に取り組んでいます。本日は、本市の政策体系と社会課題解決に向けた本市の取組について御紹介します。

研究発表



水素が含まれた新しいセラミックス材料の開発と
マテリアルイノベーション

高津 浩 (京都大学 大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻 講師)

化石燃料の枯渇問題とその燃焼に伴う温室効果ガスの発生が社会問題として注目される中、エネルギーキャリアとしての水素が注目を集めており、新材料の開発や技術の革新が重要な課題となっている。本発表では「水素が含まれた新しいセラミックス材料の開発とマテリアルイノベーション」をテーマに、近年我々が取り組んできた新物質開発の研究について発表する。



η PJT(イータプロジェクト)での
社会課題解決を目指した事業企画について

牧野 成道 (株式会社 村田製作所 技術・事業開発本部 技術イノベーション戦略部 シニアスペシャリスト)

村田製作所にて2021年4月に発足した社会課題解決×新規事業創出を目的とした η PJTに所属し、水素関連の事業企画を担当しております。 η PJTの前は商品部(樹脂多層基板MetroCirc®)に所属しておりモバイル機器の高機能化、高周波対応に貢献しておりました。商品部とは違った角度で仕事を行う新規事業企画の「産みの苦しみ」への挑戦についてお話ししたいと思います。



暮らしと文化を次代へ繋ぐ住まいの環境とエネルギーのマネジメント

伊庭 千恵美 (京都大学 大学院工学研究科 建築学専攻 准教授)

2050年カーボンニュートラルに向けて、建築分野でも断熱・気密性が高く最新の設備を備えた住宅が推奨される中、歴史的な建築意匠や街並み、伝統的な暮らしのとのミスマッチが生じることがあります。京都市内で京町家の温熱環境の計測や住まい手へのヒアリングなどを行ってきた経験から、次代へ繋いでいきたい生活文化や健康的な暮らしを実現、エネルギーを有効活用し、災害時にも備えられる住まいについての取り組みをご紹介します。



オムロンソーシャルソリューションズで取り組む
社会課題解決型の地域創生事業

川井 和哉 (オムロンソーシャルソリューションズ株式会社 事業開発統轄本部 ソーシャルデザインセンタ長)

オムロンソーシャルソリューションズでは、未来課題を捉えて社会システムを再構築する「ソーシャルデザイン」に取り組んでいます。なかでも、地域創生事業では、日本が抱える人口減少・超高齢化の社会的課題に対して、テクノロジーの力を使って地域課題の解決にチャレンジしています。その活動の中から事例をご紹介します。我々がどのように社会・市場視点で事業に取り組んでいるかをご紹介します。